

算数

名前

丸つけ・直しまでやった場合は日付を記入。やれなかったものには×をつけよう。

基本メニュー (☆☆☆) 全員が必ずやるべきもの	日付
① 第3回 復習用 「①数の性質(1)」「②多角形(2)」のスタンダード例題まで	
② 第3回 復習用 「①数の性質(1)」「②多角形(2)」の基礎演習	
③ 第3回 復習用 「①数の性質(1)」「②多角形(2)」の家庭学習Aプリント	
④ 5年基礎力養成問題2月号・3月号 日付にあわせて1日1ページ	

応用メニュー (☆☆) 余裕があればやるもの(Gクラスは必須)	日付
① 第3回 復習用 「①数の性質(1)」「②多角形(2)」のハイレベル例題 (授業でハイレベル例題を扱った場合、その問題は☆☆☆)	
② 第3回 復習用 「①数の性質(1)」「②多角形(2)」の家庭学習Bプリント (授業でハイレベル例題をすべて扱った場合、☆☆☆)	
③ 第3回 復習用 「①数の性質(1)」「②多角形(2)」の思考力養成問題 (授業で思考力養成問題を解いた場合は☆☆☆)	
④ Gラボ算数(入試問題に挑戦) 下記QRコードの入試問題	

応用④は概ね今回の単元に対応しています。できれば問題を見たら再生を中断し、紙やノートに解いてから視聴してください。

入試問題動画QRコード



授業動画について

内部生限定で、5年生のレギュラー授業(授業回)の動画を、一定期間配信いたします。欠席時や、復習の際に分からなくなった場合、あるいはハイレベル例題を授業で扱わなかったけれどチャレンジしたい場合にご活用ください。本動画は、限定公開としておりますので、レギュラー生のみ利用できるものである点にご留意ください。

内部生用ページ(<https://labo-g.net/grade-2027>)からご視聴ください。

担当からの連絡

今回は、「数の性質(1)」「多角形(2)」を学習しました。

倍数については、公倍数、最小公倍数の意味の違いを理解して問題を解くようにしてください。

連除法は、3つ以上の数の最小公倍数を求める際に、2つの数字が割れる場合は続けて割っていくことに注意しましょう。

スタンダード例題4はひっかけやすい問題です。

例えば、「60から120までに、3の倍数はいくつあるか」と問うと、 $(120-60) \div 3 = 20$ で20個と答える生徒がいますが、答えは21個です。この問題の場合、60は3の倍数ですが、「-60」と計算してしまうと、60も取り除くこととなり、3の倍数とカウントしないこととなります。したがって、あとで+1をしなければいけません。もちろん、 $120 \div 3 = 40$ 、 $59 \div 3 = 19 \cdots 2$ 、 $40 - 19 = 21$ としても構いませんし、 $120 \div 3 = 40$ 、 $60 \div 3 = 20$ 、 $40 - 20 + 1 = 21$ といった解き方もあります。

多角形(2)は正方形、長方形、平行四辺形、ひし形、台形の性質および面積の求め方を理解しましょう。図形の性質を細かく問う問題が出題されたこともありました。基礎演習を参照してください。

面積を求める際は、「底辺と高さは垂直(直角)の関係である」ことを意識しましょう。

これを意識すれば、正方形の面積を「対角線×対角線÷2」で求められることも理解できますし(正方形の対角線は直角に交わりますよね)、三角形の面積を求める際にも活かせます。

面積から長さを求める問題は、慣れるまで、求める辺の長さを□として式をつくった上で解くようにしましょう。